

## 高麗グリーンへのインターシーディング

作業予定表																													概要	
造成施工	床土を数回ローラー転圧し、面を作る																													
アクトジェット散布	→ 発芽の補助、土壌の保水のために事前にアクトジェット散布																													
筋切り施工	→ 土壌の中に種が挿入されるように細かいピッチでクロスに筋を切る																													
播種施工	→ 1㎡12gドロップシーダーにてクロス撒き																													
目砂	→ 0.5mm厚散布																													
転圧	→ 種が動かないように低速でシングル掛け																													
ベンネット掛け	→ 合わせ面を1cm取り風に飛ばないように																													
散水																													→ 1日2～3回土壌乾燥しないように	全体的芝が揃うまで毎日散水
施肥																														少量多回数
刈りこみ																														刈高4mmで密度形成上昇
施工・管理の注意点	・施工・播種時期としては8月下旬から9月上旬の施工が望ましい。夏前の施工は梅雨、夏越しの管理が大変である。																													
	・ベンネット施工はグリーンに傾斜がなく、種が流亡しない場合、省いたほうが施肥、刈りこみ作業がしやすい。																													
	・播種前に発芽促進のために保水剤(アクトジェット)を散布する。																													
	・施肥施工は芝が全体的に生え揃った時から始める。1回目アクトジェニー1cc、アクトバイアル2g、2週間後アクトジェニー1cc、アクトバイアル																													
	・1回目の刈りこみは刈り高8mmからはじめ軸刈りにならないように下げる。																													